

平成 2 7 年度

事業報告書

平成 2 7 年 4 月 1 日～平成 2 8 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人
宇城市社会福祉協議会

目 次

1	事業の総括	・・・・・・・・・・ P 3
2	事業報告	・・・・・・・・・・ P 3
(1)	ニーズの把握と支援体制づくり	・・・・・・・・・・ P 3
(2)	高齢者福祉の推進	・・・・・・・・・・ P 4
(3)	障がい者福祉の推進	・・・・・・・・・・ P 4
(4)	児童・ひとり親福祉の推進	・・・・・・・・・・ P 5
(5)	ボランティア活動の充実と組織強化	・・・・・・・・・・ P 5
(6)	福祉教育と啓発促進	・・・・・・・・・・ P 6
(7)	地域及び在宅福祉の推進	・・・・・・・・・・ P 7
(8)	地域包括支援センター事業	・・・・・・・・・・ P 8
(9)	社協経営基盤の整備・強化	・・・・・・・・・・ P 9
(10)	会務の運営	・・・・・・・・・・ P 10
(11)	その他	・・・・・・・・・・ P 10

1 事業の総括

平成27年4月の介護保険制度の改正では、今後3ヶ年の移行期間を経て、平成30年度からは現行の要支援認定者の介護予防サービスが市町村独自の新総合事業へ完全移行となることの制定がなされました。

この制度改正を見据え、社会福祉協議会においては第2期地域福祉活動計画に基づき、合併後推進してきた地区福祉会を基盤に互助・共助による支え合いの事業を推進することに力を注いだ1年でした。

26年度から取組んできた「地域づくりによる介護予防推進支援事業」（百歳体操）の展開と27年度において新たに「安心生活サポート事業」に取り組んだことは、住民参加による地域福祉拡充への新たな一歩と考えます。

ボランティア活動の啓発に向けては、昨年11月7日に「第9回火の国ボランティアフェスティバル宇城大会」を宇城2市1町の社協が合同で、宇城市松橋総合体育文化センター（ウィングまつばせ）を会場に開催しました。829名の県下各地からの参加者とボランティアスタッフ139名、ならびに関係各位の参加のもと盛大に開催でき、8日の宇城管内の名所巡り（宇土・宇城を散策する海コースと美里町のフットパスでの山コース）においても、ボランティアによるおもてなしを取り入れ、ボランティア活動への気運が高まる大会となりました。

地域包括支援センターにおいては、今回の介護保険制度改正を受け、委託元の宇城市との連携を密に、要支援認定者に対しての対応、認知症対策の具体的な展開、医療連携等、地域包括ケア体制づくりに取り組みました。

社協の経営面では、27年度は運営面での財源確保に一層厳しさがみられ、今後ますます社協運営においての経営感覚が必至となってきました。社会福祉法人に課せられた役割、また社会福祉協議会の使命を見失うことなく費用対効果に努めたところであります。

各事業の成果については、次のとおりとなっております。

2 事業報告

（1）ニーズの把握と支援体制づくり

①地域福祉支援システム事業

要支援者の把握を行いネットワーク台帳の整備を行った。

- ・登録件数：3,124件（平成28年3月末現在）

②宇城市地域福祉計画・地域福祉活動計画

平成27年度からの第2期計画に基づき宇城市健康福祉部と合同で、策定委員や市民部会でワークショップを開催し、進行管理と事業達成の評価を行った。

③福祉座談会の開催

社協活動啓発とともに、地区福祉会設置に向けての説明会・座談会を実施した。

- ・開催回数：7地区、参加者数：200人

（２）高齢者福祉の推進

①介護予防・日常生活支援総合事業

身近な場所での介護予防及び地域交流をすすめ、心身の健康維持のための事業を実施した。

（かたろう会）

- ・利用登録者数：189 人、延利用者数：7,276 人
- ・開催回数：各福祉センター5 か所、677 回開催

（若返り塾）

- ・利用登録者数：90 人、延べ利用者数：3,029 人
- ・開催回数：3 か所 6 教室、197 回開催

（みな来るサークル）

- ・利用登録者数：25 人、延べ利用者数：772 人
- ・開催回数：103 回

（介護予防サポーター事業）

- ・養成講座開催回数：3 会場×3 回、延受講者数：225 人
- ・フォロー講習会開催回数：2 会場×9 回・1 会場×7 回、延受講者数：270 人
- ・サポーター登録者：77 人、派遣回数：1,417 回

（地域巡回型介護予防事業）

- ・体力測定 開催回数：81 か所、参加者数：1,589 人
- ・講話 開催回数：80 か所、参加者数：1,752 人

②一日給食サービス事業

食改、婦人会、民協の協力により、80 歳以上の一人暮らし高齢者に弁当の配布を行った。

- ・配布者数：943 人

③もしもし電話訪問活動

一人暮らし高齢者へ電話による訪問を行い、安否確認や不安解消を行った。

- ・対象者数：21 人、延回数：1,008 回、ボランティア登録数：7 人

④安心生活サポート事業（新規）

- ・協力会員養成講座 47 人参加
- ・協力会員登録者数 29 人、利用会員登録者数 25 人、活動延回数 98 回

（３）障がい者福祉の推進

①児童発達支援事業（児童デイサービス事業）

障がい児に対し、適切な療育指導及び日常生活に対応できるよう基本動作の習得訓練等を実施した。

- ・契約者数：88 人、開催回数：216 回、延利用者数：1,706 人
- ・保護者の癒しの場（ホッとサロン）を 6 回開催した。

②障がい者交流事業（絵画教室）

障がい者の社会参加と交流を図った。

- ・（絵画教室） 開催回数：22 回、参加者数：6 人

③障がい者福祉スポーツ大会

障がい者相互の親睦と融和を図り、社会参加の促進を図った。

- ・参加者数：147 人（ボランティア含む）

④福祉用具貸出事業

高齢や障がい等により、身体機能が低下した人へ福祉用具（ギャッジベット・車いす等）を貸出し、在宅で生活できるよう支援した。

- ・貸出件数：ベッド 6 件、車イス 29 件

（４）児童・ひとり親福祉の推進

①子ども劇場

文化芸術体験を通して、子育て支援や親子のふれあいと幼児の健全な育成を図った。

- ・参加者数：親子 715 人

②ひとり親世帯交流事業

親子のふれあいと参加者同士の交流を深めるとともに、子どもたちの健全育成を図った。

- ・参加者数：15 世帯 39 人

③ファミリーサポートセンター事業

児童福祉のため育児の一時的な支援を望む保護者と、それを支援したい者との連携で、保護者が安心して働くことができる環境を整備する事業として取り組んだ。

- ・援助会員：58 人、利用会員：159 人、両方会員 7 人、活動件数：128 件

④子育てひろば事業（宇城市地域子育て支援拠点事業）

子育て中の親子が交流する場を設置して、子育ての不安感を緩和するための拠点として事業の充実を図った。

- ・開設日数：153 日、利用者数：3,702 人

（５）ボランティア活動の充実と組織化

①ボランティアセンター事業

地域住民のボランティア活動に関する理解と関心を深めるとともに、ボランティア活動の推進を図った。

- ・ボランティアの需給調整：18 件 69 人
- ・ボランティア保険の受付：72 件 3,470 人
- ・ボランティア連絡協議会の運営支援：16 団体
- ・第 9 回火の国ボランティアフェスティバル宇城大会の開催：892 人
（ボランティアスタッフ：139 人、スタッフ：40 人）

- ・傾聴ボランティアフォローアップ講座：参加者数 12 人

②災害ボランティア訓練事業

災害が発生した時の有効な対応が出来るよう炊き出し訓練とボランティア受入れ訓練を実施した。

- ・炊き出し訓練・センター設置訓練、講話：4 回 1,339 人参加

③ボランティアポイント制度

ボランティア活動を通して地域貢献や社会参加を促すとともに、ポイント付与による商品券配布によりボランティア活動の継続性を図った。

- ・該当者数：85 人

④ワークキャンプ事業

児童生徒が福祉施設で体験学習することにより、福祉に関する理解とボランティア活動へのきっかけづくりを行った。

- ・参加者数：延 339 人（7 施設）

⑤劇団「うきうき」活動育成事業

身近な福祉問題を題材にした福祉劇を上演することで、地域の課題と住民へのボランティアの啓発を行った。

- ・11/7 第9回火の国ボランティアフェスティバル宇城大会において公演
- ・11/14 認知症市民フォーラム等において公演
- ・活動回数：18 回 会員数：8 人

（6）福祉教育と啓発促進

①広報紙の発行

社協事業の啓発、募集、報告等の情報発信のため、社協だより「ハートフルうき」を毎月発行した。

- ・発行回数：12 回
- ・配布先：全世帯・賛助会員（企業体）に配布 発行部数 22,800 部（月）

②児童・生徒のボランティア活動普及事業

市内の小・中・高校をボランティア協力校に指定し、学校内外において社会福祉に関する学習や体験を行うことで、福祉への理解とボランティア精神及びボランティア活動の啓発を図った。

- ・指定協力校：20 校

③地区福祉会リーダー研修会

先駆的な地域福祉活動の指導者を講師に講演会を開催した。

- ・演題：「阿蘇市の小地域ネットワーク活動と生活支援」
講師：阿蘇市社会福祉協議会 地域福祉班長 山本由紀子 氏
参加者数：510 人

④ホームページの公開

社協事業の周知、広報を行った。

⑤福祉出前講座

福祉に関する学習や疑似体験を通してボランティア活動への関心や意欲の向上を図った。

- ・開催回数：7回、参加者数：340人

（7）地域及び在宅福祉の推進

①校区・地区福祉会推進事業（小地域ネットワーク事業）

各地区福祉会においてのサロン活動、見守り活動、介護予防事業や地域連帯意識の向上のため支援を行った。

- ・地区福祉会数：136地区（145行政区）
- ・校区福祉会数：4校区
- ・設置推進説明会：3回

②福祉団体活動促進事業

福祉団体の活動促進を図るため助成を行った。

- ・助成団体数：9団体

③無料弁護士相談（福祉法律相談）

住民の生活向上のため、法律問題に関する相談に応じるため、無料弁護士相談所を開設した。

- ・開催回数：12回、相談者数：53人

④地域福祉権利擁護事業（福祉サービス利用援助事業）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等の人が、地域において自立した生活を送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等を行った。

- ・利用者数：29人

⑤法人成年後見人等受任事業

意思決定が困難な人の判断能力を補うため、本会が成年後見人等になることにより、本人が安心して日常生活を送ることができるよう支援する。

- ・受任件数：4件

⑥生活福祉資金貸付事業

低所得者、障がい者等に対し資金貸付と必要な援助指導を行い、自立した生活が送れるよう支援した。

- ・相談件数：175件（内申請件数：2件、貸付決定数：1件）
- ・貸付件数：49件（平成28年3月末現在）

⑦在宅介護者のつどい

在宅で介護をされている人を対象に、介護情報の提供や介護者自身の心身のリフレッシュ及び介護者相互の交流を図った。

- ・開催回数：1回、参加者数：4人

⑧地域づくりによる介護予防推進支援事業

住民自身が運営する体操の集いなどの活動を地域に展開し、人と人とのつながり

を通じて参加者の通いの場、居場所と出番づくり等が継続的に拡大していくような地域づくりを目的に地区福祉会への推進を図った。

- ・いきいき 100 歳体操の実施 1 回/週

開催地区：16 地区（三角町 2 地区、不知火町 2 地区、松橋町 7 地区、小川町 3 地区、豊野町 2 地区）

（８）地域包括支援センター事業

①総合相談業務

24 時間体制（転送電話）で高齢者やその家族及び関係者等からさまざまな相談を受け、必要に応じて訪問を行うなど、迅速な対応により適切な機関・制度・サービスにつなぐことができた。

- ・相談延件数：2,249 件

②権利擁護業務

高齢者の虐待防止や成年後見制度等へのつなぎ、消費者被害防止等の高齢者の権利を守る支援を行った。

- ・権利擁護対応延件数：166 件（内虐待対応延件数 68 件、実件数 6 件）

③包括的・継続的ケアマネジメント業務

高齢者が住み慣れた地域で継続して生活が出来るよう主治医、介護支援専門員をはじめ民生委員等関係機関との連携を図りながら支援を行った。また、宇城市にある有料老人ホーム等の施設情報を取りまとめ、居宅事業所や市民への情報提供を行った。

- ・連携会議等出席回数：延 1,462 回

④介護予防ケアマネジメント業務

地域に住む高齢者が住み慣れた地域で、その人らしく自立した生活が出来るように介護予防事業への利用参加を積極的に促した。また、要支援認定者（要支援 1・2）及び介護予防・日常生活支援総合事業対象者の予防プランを作成し自立に向けての支援を行った。

- ・介護予防支援延件数：6,409 件（内委託 15 事業所 889 件）
- ・介護予防・日常生活支援総合事業ケアマネジメント：延件数 555 件
- ・二次予防事業対象者への訪問：11 件

⑤認知症対策業務

行政、医療、福祉、介護の分野からなる「認知症を考える会」を中心に、認知症に対する対策と相談、啓発を行った。また、認知症の正しい理解と認知症に関する啓発を行う「認知症サポーター養成講座」の開催を行った。

- ・認知症よろず相談：12 回 5 人
- ・認知症家族交流事業：6 回 43 人
- ・認知症サポーター養成講座：29 講座、775 人養成（累計 6,879 人）
- ・認知症サポーターステップアップ講習会の開催 72 人
- ・認知症市民フォーラム in うき 2015 の開催 580 人参加

- ・一般、専門医療機関及び介護保険事業所等との連携

⑥医療と介護、福祉の連携に関するネットワーク構築業務

医療ソーシャルワーカーや看護師、主任介護支援専門員等が定期的に集まり、顔の見える関係づくりを行った。

- ・医療介護連携会議 年4回開催

⑦その他

職員の資質向上のため、各種研修会等へ参加した。また、広報紙への包括事業の掲載や地区サロン等での講演を行い、事業の周知、啓発を行った。

(9) 社協経営基盤の整備・強化

①社協会費募集活動

市民が社協の会員になり会費を納入することで、地域福祉活動に参画する意義のため社協会費の募集を行った。

- ・一般会費：17,115件 8,557,500円
- ・特別会費：126件 127,000円
- ・賛助会費：164件 1,708,000円

②寄付金受入れ

社協が行う事業において寄付金（香典返し寄付金・一般寄付金）は、貴重な財源の一つである。

- ・香典返し寄付金：517件 10,632,000円
- ・一般寄付金：22件 417,312円

③共同募金会宇城市支会事務運営

戸別募金をはじめ街頭募金、学校募金、職域募金等の活動を行った。

- ・募金総額：9,346,907円

（この募金による共同募金配分金は、社協が行う地域福祉事業の貴重な財源の一つである）

④日赤宇城市地区事務業務

日本赤十字社が行う災害救護、国際活動等の事業推進に資する社資募集活動と啓発を行うとともに、市内で発生した火災等の被災者に対し救援物資を配布した。

- ・日赤社資募集実績額：7,329,976円

(10) 会務の運営

①理事会並びに評議員会の開催

- ・平成27年5月7日 理事会
- ・平成27年5月22日 理事会、評議員会
- ・平成28年1月28日 理事会、評議員会
- ・平成28年3月22日 理事会、評議員会

②監査の実施

- ・平成27年5月8日

(11) その他

①老人福祉センター等施設管理運営事業

市より指定管理を受託し、高齢者等に教養の向上やリクリエーションの場として提供した。

・ 5施設利用者数：47,861人

※豊野福祉センターについては、平成27年度末をもって指定管理業務が契約終了となった。(耐震不足施設のため)